

4月25日（月）

* 「ごちそうさま」のその後は・・・

食後のあいさつ「ごちそうさま」の意味をご存じですか？

諸説ありますが、その昔、大切な客人を迎える時に、その準備のため、馬を走らせて方々へ出向き、物品を調達していました。流通が整った現在とは違い、もてなしの品々を集めるのに、苦勞のいる時代だったのでしょう。その様子から、「馳走」と言う言葉に「もてなし」の意味が含まれるようになり、食事をした後のあいさつとして、「ごちそうさま（でした）」と言うようになったのだそうです。江戸時代後期に、ご馳走をいただいた事への感謝の意をあらわす言葉として、使われ始めたのがきっかけだそうです。

佐山小でも、教室でも給食保管庫でも「ごちそうさまでした。おいしかったです。」としっかりとあいさつで感謝の気持ちを表しています。

給食当番が食器などを片付けに行っている間、教室では台をふいたり、簡単な掃き掃除をしたりと、それぞれが自分の役割を果たしていました。



給食保管庫では、委員会の児童が全校のお世話をしてくれています。二島学校給食共同調理場から食缶などの回収に来てくださいました。たくさんの方々に支えられて、おいしい給食をいただくことができます。

